

116.透析導入患者の栄養状態・摂取栄養量に関する研究

研究の概要

70歳以上の透析患者は経年的に増加傾向にあり、高齢透析患者は今後も増加すると予想されます。高齢透析患者には、合併症、低栄養、ADLの低下、介護などの問題を認めることが多く、低栄養は死亡の危険因子です。低栄養状態は保存期CKDから高率に合併しており、透析導入を機に急速に悪化し、ADLやQOLを低下させて生命予後に悪影響を及ぼしている可能性が高いです。このことより、CKD保存期から透析導入時における栄養管理（栄養指導・栄養評価）は重要と考えます。しかし、本邦における透析導入前（ESKD）の栄養状態および摂取栄養量に関する報告は少なく、透析導入時指導における栄養管理方法の検討が急務であります。

研究の目的と方法

本研究の目的は、透析導入患者の栄養状態及び栄養量の把握を行い、透析導入時指導における栄養管理方法について検討することです。日常診療で得られたデータ(年齢、性別、身体計測値、生化学検査値、栄養食事指導記録等)をもとに、集計・統計分析を行う後ろ向き研究です。

本研究の参加について

本研究への参加・不参加に関わらず、利益・不利益を生じることはありません。個人を特定するような情報は解析に使用せず、研究データは匿名化した状態で取り扱いを行います。本研院への不参加をご希望の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、2020年5月1日～2020年12月31日の期間中、国立病諸機構熊本医療センター腎臓内科に入院し透析導入を行った患者さん50例を対象としています。新たに試料・情報を取得することはなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。

調査期間

研究対象期間:令和2年5月1日～令和2年12月31日まで

研究実施期間:倫理委員会承認後～令和4年3月31日まで

研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。個人が特定されることはありません。

研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 山下晶穂

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 山下晶穂

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 山下晶穂

TEL : 096-353-6501